京都　東山三十六峰越 Walk　2016. 9. 13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道（醍醐街道）
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峰 伏見稲荷大社の参詣道をたどる




清水山
三条通日ノ岡越
御陵
毘沙門堂
JR山科駅
東山トンネル出口
五条通渋谷越
JR東山トンネル
東山新幹線トンネル
今熊野滑石越
東山七条
国道1号線
JR京都駅
滑石街道
東海道新幹線
山科川
柳辻
新十条通
◎阪神高速8 山科IC
大石神社
阪神高速稲荷山トンネル
西野山
稲荷山一の峯
伏見稲荷大社
JR稲荷駅
稲荷山 ハイク
観修寺
名神高速道路
京都東山三十六峰越 Walk ルート図

【2】　山科の帰りは　久しぶりの稲荷山横断ハイク　　2016.9.13.

稲荷神降臨信仰の稲荷山　伏見稲荷大社の参道道をたどる



山科西野山から眺める稲荷山

一度歩いてみたかった　東山36峰の南端　稲荷山の横断

山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランド

鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山南端部　西野山・稲荷山　2016.9.13.

【2】　山科の帰りは久しぶりの稲荷山横断ハイク　　2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　　久しぶりの稲荷山はワンダーランド









もう　何十年ぶりか？ 久しぶりに歩いた稲荷山。山科側の山中は　鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峯への小道がつづく。
昔から、伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。 神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。一体幾つあるのだろうか？
今はやりのパワースポットか？　初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれる。
また、京都側　伏見稲荷神社本殿から三ケ峰に続くに三ヶ峰奥社　お山巡りの参道は切れることなく続くおびただしい数の赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。平日にもかかわらず　三ヶ峰への参道を登ってくる人はほとんどが外人の観光客。 さすが、日本一の外人観光客のスポットに。
たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも・・・・・・・・。
霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

稲荷山横断ハイク walking Map

伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



Walking 行程 約2Hr ： 伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



◆ 伏見稲荷大社と稲荷山

稲荷信仰の象徴　赤い千本鳥居と稲荷山の杉



伏見稲荷大社



七条大橋周辺より　鴨川越しに眺める東山　の南端　西野山・稲荷山　　2016.9.13.

伏見稲荷大社は京都東山36峰の南端に位置する稲荷山三山（三ケ峰）を「稲の穀霊神・稲荷大神」が宿る山・神体山とする神社で、稲荷山の麓に本殿があり、稲荷山全体を神域とする。 全国に約3万社あるといわれる稲荷神社の総本宮である。
旧称は稲荷神社。式内社、二十二社の一社。　旧社格は官幣大社で、現在は神社本庁に属さない単立神社。

稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する。
稲荷山三ヶ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、明応8年（1499年）に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神」とともに、五柱の神を一宇相殿（一つの社殿に合祀する形）に祀っている。

稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、
711年（和銅4年）伊侶具秦公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峯（稲荷山）に三柱の神を祀ったことに始まる。
それには富裕だった伊侶具が、お餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛び去り、
稲荷山に舞い降り、そこには　稲が生え（稲成り・いなり）た。
伊侶具の子孫は　伊侶具の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、稲荷神社の起源とされている。



◎　稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされ、伏見稲荷大社では神楽を舞う巫女の頭にも、杉の葉が飾られる。



















多くの祠が点在する　将軍菩薩(右上の写真)　近辺

◆　稲荷山の山科側山中には 幾つも祠があり、神の集う山

静かな緑の林の中　不思議な空間

ここも　最近はやりのパワースポットの一つか ？

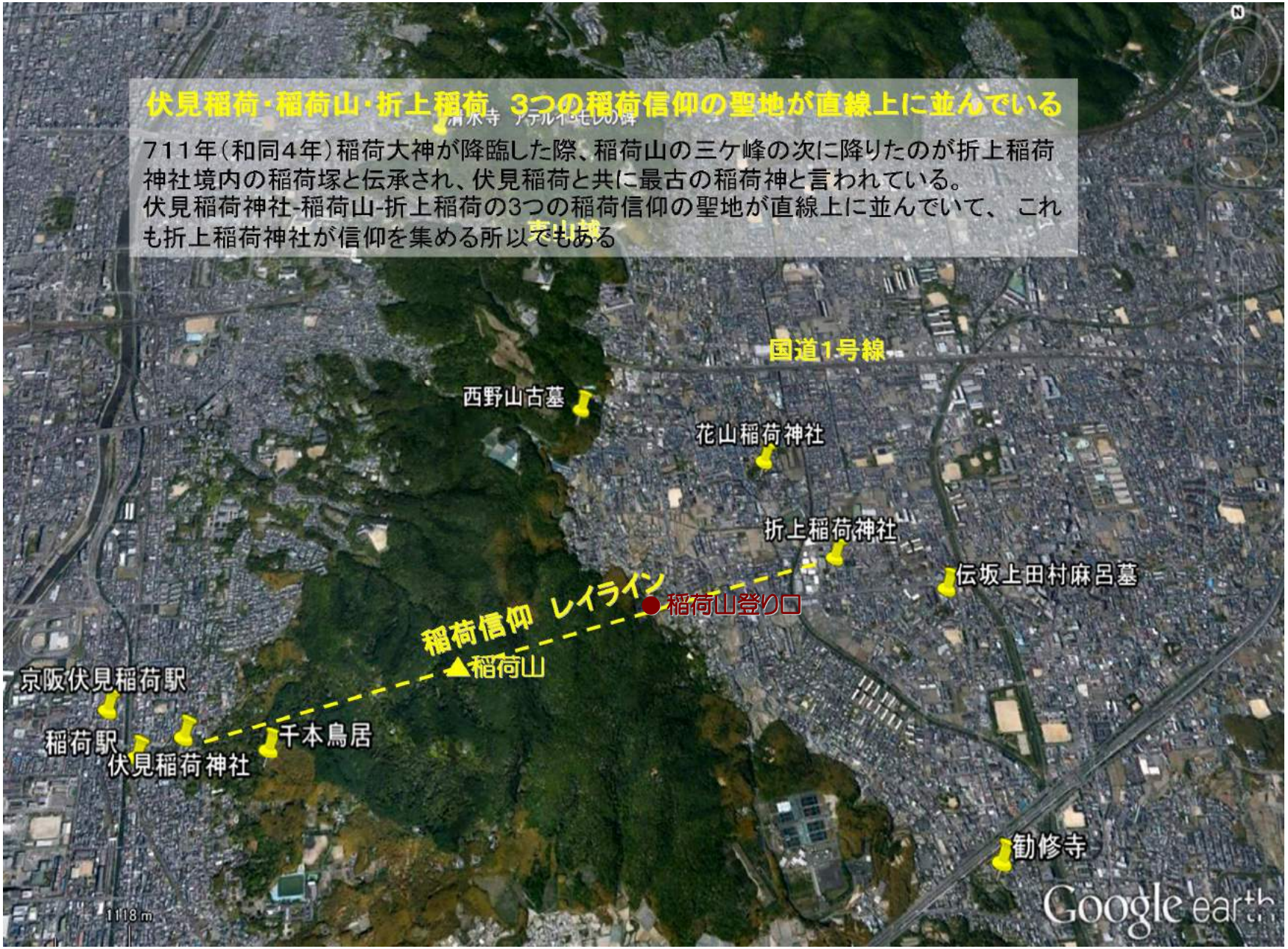
◆ 稲荷信仰聖地　山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン　2/2



伏見稲荷の奥の宮とされる折上稲荷神社　左の森が稲荷塚　2016.6.3.　12:35

折上稲荷神社境内の稲荷塚（京都市史跡）は約1，500年前のもので、稲荷神の前身、祖先神（田の神）がお祀りされていた聖地。　後の711年（和同4年）稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ケ峰の次に降りたのが境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神と言われている。 山に対する信仰と生産の信仰が一体となって生まれたと考えられ、きわめて古い民間信仰の姿をとどめているといわれる。

◆ 稲荷信仰聖地　山科折上稲荷・稲荷山・伏見稲荷大社を結ぶレイライン




【2】　帰りは久しぶりの稲荷山ハイク　　2016.9.13.
山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランドでした
JR稲荷駅
本殿
楼門
伏見稲荷大社
奥の院参道
三つ辻
三の峯
四辻
大杉社
二の峯
御膳谷奉拝所
一の峯
（稲荷山山頂）
分岐
分岐11
将軍菩薩
西野山
阪神高速
稲荷山トンネル
稲荷山
登り口
大石神社
滑石街道出口
新大石道
山科IC
今熊野 滑石街道入口
滑石街道
新幹線・JR
東山トンネル
滑石越 峠
滑石街道
西野山古墓
山科 西野山地区
Google



阪神高速山科IC・稲荷山トンネル入口　2016.9.13.

この左手すぐのところに大石神社があり、稲荷山の登り口。

地元の人から「大石神社まで行かずとも、IC横の道をトンネルのところまで登れば、稲荷山への登り口」と教えてもらって、ここから登ることに。



山科IC•稲荷山トンネル横　稲荷山登り口　　2016.9.13.　11:40

舗装道路が左へ直角に曲がる角から、山腹へまっすぐ伸びる小道が登り口。
案内板も何もなく、一瞬戸惑いましたが、すぐ奥に入ったところに小さな標識がありました。



山科IC・稲荷山トンネル横　稲荷山登り口　2016.9.13.　11:40

入口には何もありませんが、奥は　しっかりした標識があるよく整備された道が続いていました



山科IC・稲荷山トンネル横　稲荷山登り口　　2016.9.13.　11:40

山腹へ取りつく登り口からは　今にも雨が降り出しそう　霧雨に煙る山科の街が一望できました



119番通報標識
ポイント番号【1 】

稲荷山トレイル　　2016.9.13.　11:43

登り口の奥は　すぐ　鬱蒼とした森の中、山腹を登ってゆく整備された登山道に。
道脇には　119番通報ポイント【1】標識が立っていました。



稲荷山トレイル　　2016.9.13.　119番通報ポイント番号【2】

ついに霧雨が降り出したが、樹木がうっそうと茂る林の中　雨粒は落ちてこない。 予報では大雨にはならぬと。
気分的にはちょっと重たいが、道もしっかりしているし、距離も短い。 それに　頂上から向こうは稲荷大社の参道道。
今日はやっぱり　稲荷山を越えて京都にでたい。このままぶらぶら稲荷山を歩けるだろうと。
それにしても　麓からすぐに視界の開けぬ鬱蒼とした森　稲荷山全体が神域としてまもられてきたからなのだろうか。
ふと　異次元の空間に迷い込んでゆくとの思いも感じる。 尾根と尾根の間なので余計に暗い。



「稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴」

稲荷神社の起源は「山城国風土記」逸文に残されていて、711年（和銅4年）
伊侶具秦公が、勅命を受けて伊奈利山三ヶ峯（稲荷山）に三柱の神を祀った
ことに始まる。
その理由は伊侶具がお餅を弓矢の的にしたところ、餅は白い鳥になって飛
び去り、稲荷山に舞い降り、そこには稲が生えた。(稲成り・いなり)
伊侶具の子孫は　伊侶具の過ちを悔いて、杉の木を植えて祭ったのが、
稲荷神社の起源とされており、稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴とされている。

そんなイメージで見るからでしょうか、 稲荷山の道筋の杉林は心なしか、
密集していて林が暗い。 異次元の空間の感じが漂う。
霧雨の林の中　雨粒は落ちてこないのですが、蒸し暑く
ポケットの地図も内から濡れて　ぴしょびしょです。

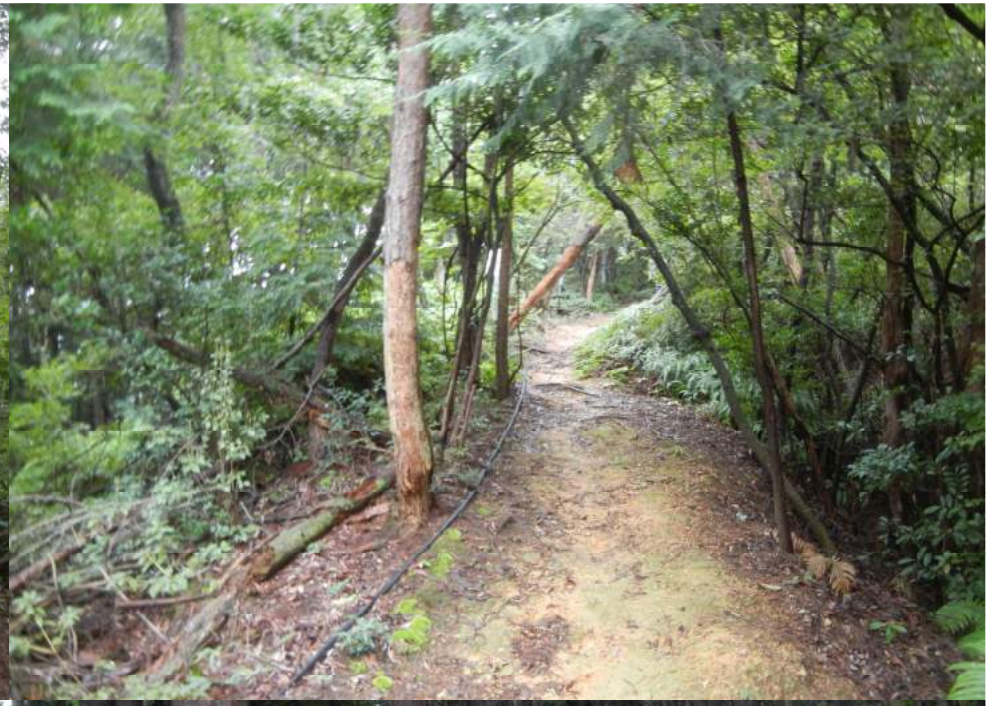
119番通報ポイント番号【3】 11:51

この周辺は西野山　山科区に属している。
一方稲荷山全体は伏見区で、正確には東西に並び連なる二つの山。
伏見稲荷の神域も稲荷山。
しかし　ほぼ同じ高さの山が連なっていて　全体を稲荷山と親しまれている



谷筋を抜けて、稲荷山へと続く西野山への尾根筋へでる登り道　　視界は開けないが明るい。









稲荷山へと続く西野山への尾根筋へ登ってゆく　　ポイント【4】周辺 、11:57


みんなでね
京都の山を
大切に
百々小学校児童作
山科消防団 百々分団
山科消防署・山科警察署
京都洛南ロータリークラブ
119番通報ポイント番号
5
火災・救急・救助のときは、この番号を伝えて下さい
山科消防署
山科警察署



119番通報ポイント番号【6】 12:01

山腹を南から登ってきた勸修寺・山科浄水場からの道(左)との合流点

右が稲荷山への道で、稲荷山へ続く西野山の頂上への登り　頂上はもうすぐ上



雨に煙る山科が樹木の間から見え　稲荷山へ続く西野山の頂上も近い



尾根筋へ登り切るとそこは中央に三角点がある緑の明るい広場
鬱蒼とした森を抜けての明るい空間に心地よい

西野山頂上　三角点　　2016.9.13.　　12:10



西野山頂上　三角点　　2016.9.13.　12:10



南へ延びる西野山の広い山頂部　林の中に幾つも祠や塚の立てられている一角が現れる
深い森の中に　突然現れる不思議な空間　　2016.9.13.



西野山山頂南部　将軍菩薩周辺　2016.9.13.　　12:12
三角点の広場を抜け、南へ延びる西野山の広い山頂部の林の中に幾つもの塚や祠があり、
ちょっと不思議な空間　周辺あちこちに名前も不明な赤い垣や組上げられた岩がある。
稲荷山も含め、1万を超える塚や祠があるといわれている



西野山山頂南部 将軍菩薩とその一角の塚　2016.9.13.　　12:12


西野山山頂南部　将軍菩薩周辺　　2016.9.13.


西野山山頂南部　将軍菩薩周辺　2016.9.13.





西野山から西へ林の中を稲荷山との鞍部へと下ってゆく　　2016.9.13.


西野山を西へ林の中を下ると稲荷山との鞍部が見えてくる　2016.9.13.　12:19



標識が裏向いていたので
方向を合わせて表示

西野山と稲荷山の鞍部十字路　2016.9.13.　12:19.
左: 深草方面　右:滑石街道稲荷山北登山口の標識がついた119番情報ポイント【11】



西野山と稲荷山の鞍部十字路　稲荷山頂上一の峯への道　2016.9.13.　12:20.









稲荷山頂上一の峯への道　杉林が続く　2016.9.13.

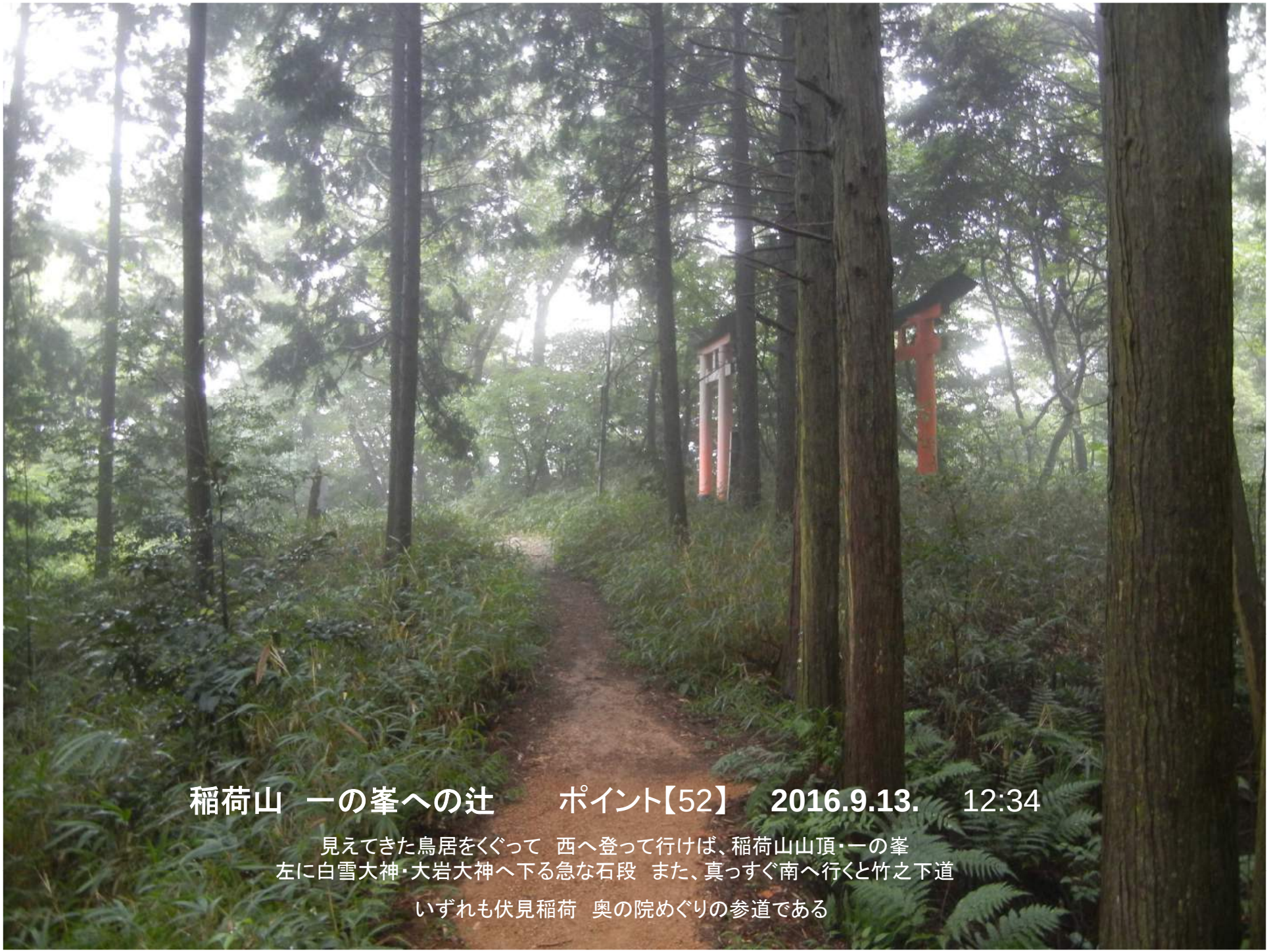
119番情報ポイント【51】 と50番台に代わりました



稲荷山頂上一の峯への道　杉林が続く　2016.9.13.

稲荷山の杉は稲荷信仰の象徴　ずっと今も植林されているのだろうか‥‥





稲荷山　一の峯への辻　　ポイント【52】　**2016.9.13.**　12:34

見えてきた鳥居をくぐって　西へ登って行けば、稲荷山山頂・一の峯
左に白雪大神・大岩大神へ下る急な石段　また、真っすぐ南へ行くと竹之下道

いずれも伏見稲荷　奥の院めぐりの参道である



正面　稲荷山　一の峯への辻　2016.9.13.　12:34

白雪大神・大岩大神へ下る急な石段前　また、左へ行くと竹之下道
いずれも伏見稲荷　奥の院めぐりの参道



今回歩くまで　よく知らなかった稲荷山の祠・塚そして行場
山中いたるところに　こんなに沢山あるのを初めて知りました

辻の反対側は急な海田になっていて　稲荷山・西野山から南へ落ちる谷筋へ続く
稲荷山と西野山の鞍部鞍部のところで、深草方面へ進めばこの下の谷へ出られたようだ。
この谷筋には白雪大神・大岩大神や幾つも行場があるという。



朱塗りの鳥居をくぐると　参道すぐ前方には幾つも鳥居が立ち並び、
右からも赤い鳥居の参道が合流　そしてその上には樹木を通して空が開けていて、もう頂上まじかである。



稲荷山一の峯近く　杉林の中　おびただしい数の朱塗りの鳥居が頂上一の峯へと続く　2016.9.13.　12:35



右手からは　御膳谷からの稲荷山山ケ峰回遊参道が合流して稲荷山山頂へ。
それにしてもおびただしい鳥居にびっくりしました。



石段の続く参道が頂上へ
この参道に入るとさすがに参詣者が多い。　それもほとんど外人である



鳥居の向こうに稲荷山・一の峯の上社が見え、まもなく頂上到達　2016.9.13.



稲荷山 一の峯　伏見稲荷大社上社　2016.9.13.



稲荷山 一の峯　伏見稲荷大社上社　2016.9.13.　　12:40



稲荷山 一の峯　伏見稲荷大社上社　2016.9.13.









稲荷山 一の峯　伏見稲荷大社上社　2016.9.13.



稲荷山 一の峯　伏見稲荷大社上社　2016.9.13.

◆ 稲荷山三ヶ峯の社の祭神について

インターネット http://amago.hatenablog.com/entry/2014/08/01/125701 ほかより

伏見稲荷大社は稲荷大明神の神名化された下記5柱の神々を祭神とする全国に広がる稲荷信仰の中心に位置する総本宮。
稲荷山三ヶ峯の下社に主祭神である「宇迦之御魂大神」を、「佐田彦大神」を中社、「大宮能売大神」を上社に据え、
明応8年（1499年）に本殿に合祀された左右の摂社、「田中大神」・「四大神
一宇相殿（一つの社殿に合祀する形）に祀っている。



伏見稲荷大社　本殿を眺める

本殿　向かって左から　田中大神　佐田彦大神　宇迦之御魂大神
大宮能売大神　四大神 の五柱がまつられ、
これら五柱の神々の総称が「稲荷大神」とされている。
稲荷神は古く一柱の神のように伝えられていたものが、
平安時代には下社、中社、上社に三座の神々(宇迦之御魂大神
大宮能売大神　四大神)が祀られ、
やがて新たに二座(田中大神　佐田彦大神)を加えて現在の形に
なったと見られてる。

稲荷山の山上　三ヶ峰に祀られている三座の神々は古墳時代にまで遡る稲荷山の神奈備信仰とも結びついており、今でも一ノ峰（上之社神蹟＝末廣大神）、二ノ峰（中之社神蹟＝青木大神）、三ノ峰（下之社神蹟＝白菊大神）の三ヶ峯への信仰を色濃く残っています。（御神蹟とは、太古に神が宿っていた場所といい、また、三ヶ峰の大神は稲荷大明神の神明化された神々とされている。）
また、三ヶ峯の社の祭神については時代の移り変わりによって諸説ありますが、
現在の大社の見解では、下社＝宇迦之御魂大神、中社＝佐田彦大神、上社＝大宮能売大神とし、下社摂社の田中大神、中社摂社の四大神については由緒不明であるものの、「元は稲荷神と何らかの深い関わりがある地主神、あるいは土着的傾向が濃厚」とし、**五柱の神を祭神として**　伏見稲荷本殿に　**一宇相殿（一つの社殿に合祀する形）に祀っている。**



一の峯　上社



二の峯　中社



間の峯　荷田社



三の峯　下社

私が三ヶ峯に登った記憶は遠く学生時代　もっと樹木も少なく、街がみえたと。また、　鳥居が山上まで　参道を途切れることなく埋め尽くしていることにも驚いています。当時も参詣者は多かったですが、今の外人観光客の多さにもびっくりです。



私が上社まで登ってきたのは約40年ぶり。でも、山科から登ったのは初めてです。
伏見稲荷大社から登った記憶を思いだしていますが、 当時も 人は多かったのですが、 樹木が少なく、もっと遠くまで見晴らしがきき、月の輪の方へ下った記憶がある。 また、参道を埋め尽くす朱の鳥居群にはびっくりしました。 また、山科側は初めてですが、京都側の参道とは異なった静かな参道 そして こんなに沢山 山中に神蹟や行場が点在しているのも知りませんでした。
私の一番の記憶は高校生の時に伏見稲荷神社で「だるま」を受けて 成就のあとお礼参りに返しに来た記憶。小さな摂社か参拝所だった記憶があり、その場所も探したい。 再訪まで本当に時間がたっているなぁ・・・・と。

稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 上方より 2016.9.13.



一の峯から二の峯へ　2016.9.13.

鳥居のトンネルの石段を一度下って登り返すと二の峯･中社



稲荷山 二の峯　伏見稲荷大社中社　　2016.9.13.



稲荷山 二の峯　伏見稲荷大社中社　　2016.9.13.　　12:50







二の鳥から三の鳥に向かう途中　間の鳥　伊勢大神を祀る荷田社がありました　2016.9.13.



伏見稲荷大社･間の峯 荷田社 と 荷田氏

伏見大社の由来についての伊奈利伝承に対して、稲荷神の顕現を「稲を荷なう老翁」に求める伝承があり、伏見稲荷で秦氏とともに神官を勤めた荷田氏系の伝承と言われている。

稲荷大明神流記（南北朝時代）による（大意）

『弘仁7年（816）4月の頃、弘法大師が紀州田辺の宿で身の丈八尺あまりの異相の老翁に遇った。
（これを神と知った）大師は、鎮護国家のため密教紹隆の道場･東寺において神の加護を待つと告げると、老翁はそのみぎりには必ず参会して大師の法命を守るであろう、と答えた。
降って弘仁14年（823）4月13日、彼の紀州の老翁が、稲を担い杉の葉を提げ、二人の女性と二人の童子をともなって東寺の南門にやってきた。
大師は喜んでこれを歓待し、道俗もこれに習った。
老翁は、しばらく柴守の家に寄宿していたが、その間大師は東寺の杣山に勝地を定めて17日間鎮壇し、稲荷の老翁を神として祀った』とある。

同じような伝承が幾つかほかにもあり、東寺の鎮護神として現在でも伏見稲荷大社と東寺とは深い関係が保たれているという。
稲荷大神が稲荷山三ヶ峯に鎮座した際最初に奉仕したのが、荷田氏と言われ、間の峯の荷田社には荷田氏の祖神が合祀されている

インターネット検索まとめ転記

二の峯から三の峯に向かう途中　間の峯　伊勢大神を祀る荷田社　2016.9.13.　12:54



伏見稲荷　三の峯・下社へ　2016.9.13.



伏見稲荷　三の峯・下社前　数多くの塚が並んでいる　2016.9.13.



伏見稲荷　三の峯・下社　2016.9.13.



三の峯から四辻へ　鳥居のトンネルが続く　2016.9.13.



伏見稲荷　お山巡り参道の起点　四つ辻　**2016.9.13.**　13:01
鳥居のトンネルを抜けると眼前に京都市街地の景色が広がっていました



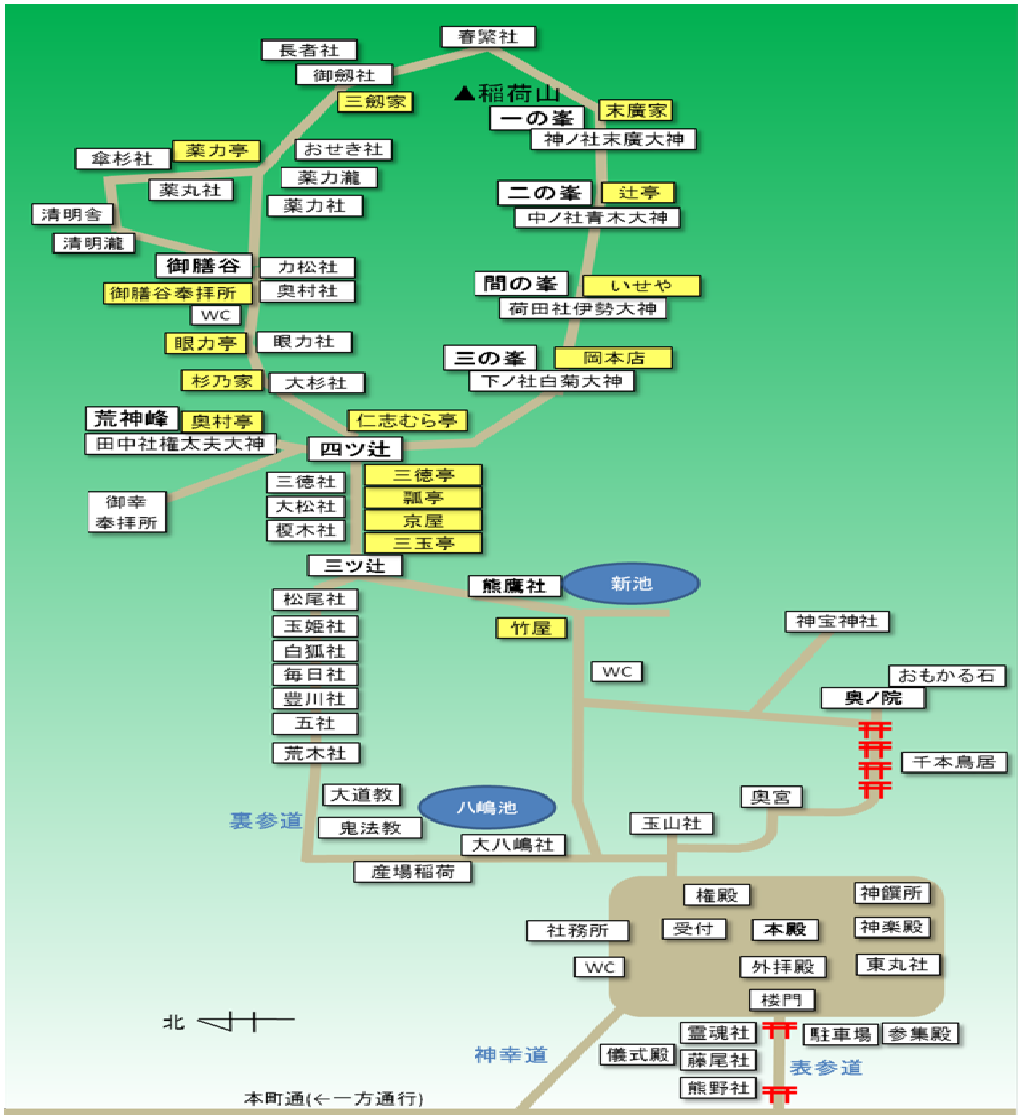
伏見稲荷　お山巡り参道の起点　四つ辻　2016.9.13.



下から登ってきた参道



御膳谷へのお山めぐりの道(逆まわり)





四つ辻は下から登ってきて「お山めぐり」の起点
「お山めぐり」の参道　御膳谷参拝所を往復してから山を下りることに

通常伏見稲荷大社本殿から奥の院の参道を登ってきて、この四つ辻から逆時計回りで三が峯を巡ってこの四つ辻へ戻る。
今回は山科から登って　直接稲荷山 頂上に登ったので、一の峯から二の峯　三の峯を通って四辻に降りてきました。　それで　四つ辻から 三ケ峰の北側の御膳谷の参道の参拝所まで往復してから　稲荷大社にくだることにしました。



御膳谷へお山めぐりの道(逆まわり)の参道を下りる　2016.9.13.　13:04
谷筋の向こうには先ほど潜り抜けてきた三ヶ峰への朱の鳥居のトンネルが見えている


御膳谷　眼力社　　2016.9.13.



御膳谷 奉拝所　御膳谷神蹟　三ヶ峰の北後背地に当たる場所　2016.9.13.　13:11



御膳谷 奉拝所 三ヶ峰の北後背地に当たる場所　御膳谷神蹟周辺　2016.9.13.
台地の上にはたくさんの塚がありました


納
奉



御膳谷の谷筋道を薬力社前まで行って　引き返す　2016.9.13.　13:18

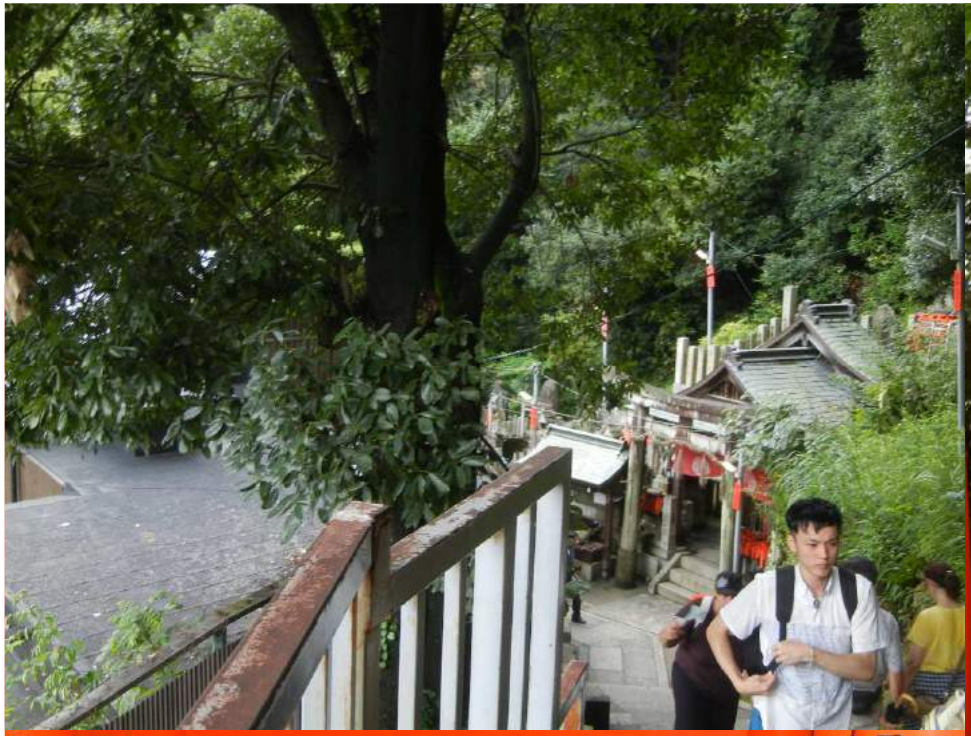




四つ辻に戻って　　京都　西山を眺める　　2016.9.13.



四つ辻から　西山の展望を楽しんで　伏見稲荷大社へ参道を下る　　2016.9.13.　　13:25









急な階段の参道　おびただしい数の鳥居を潜り抜け　稲荷大社へくだってゆく　2016.9.13.



稲荷大社への下り参道で　　20106.9.13.　　13:40

伏見稲荷大社
本殿

楼門



御産場稲荷





三つ辻



四つ辻



伏見稲荷大社の境内にでて、正面大鳥居から本殿へ　2016.9.13.　13:45













三の峯から参道を下って伏見稲荷大社の境内に戻ってきました。　2016.9.13.　13:45

山科IC横の登り口から約2Hrで　伏見稲荷の楼門前に到着です。
雨も途中であがってよかったです。
稲荷大社にお参りして　全行程完了に。



伏見稲荷大社　楼門前　参道　　2016.9.13.


伏見稲荷大社　楼門前　参道　　2016.9.13.











伏見稲荷大社　本殿　　2016.9.13.



伏見稲荷大社　外拝殿より本殿　　2016.9.13.











伏見稲荷大社　多くの人でいっぱいの正面西参道　　2016.9.13.









一度歩いてみたかった　東山36峰の南端　稲荷山の横断　**2016.9.13.**　(左上写真インターネットより)

山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランド でした

山科からの帰り　久しぶりの稲荷山横断ハイク　2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランド







伏見稲荷大社



七条大橋周辺より 鴨川越しに眺める東山 の南端 西野山・稲荷山　2016.9.13.









もう　何十年ぶりか？ 久しぶりに歩いた稲荷山。山科側の山中は　鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峯への小道がつづく。
昔から、伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。 神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。一体幾つあるのだろうか？
今はやりのパワースポットか？　初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれる。
また、京都側　伏見稲荷神社本殿から三ケ峰に続くに三ヶ峰奥社　お山巡りの参道は切れることなく続くおびただしい数の赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。平日にもかかわらず　三ヶ峰への参道を登ってくる人はほとんどが外人の観光客。 さすが、日本一の外人観光客のスポットに。
たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも・・・・・・・・。
霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。



山科西野山から眺める稲荷山

一度歩いてみたかった　東山36峰の南端　稲荷山の横断
山科 西野山から稲荷山へ登って 伏見稲荷大社へ
久しぶりの稲荷山は　ワンダーランド　でした

鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山南端部　西野山・稲荷山　2016.9.13.

久しぶりの稲荷山　初めて歩いた伏見稲荷参詣道稲荷山横断　walk

◎　もう　何十年ぶりか？　　久しぶりに歩いた稲荷山。私の遠い記憶の山とは随分　イメージが違う。
知っているようで知らなかった山に。
山科側の山中は　鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峯への小道がつづく。
稲荷神の化身としての神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。
一体幾つあるのだろうか？　　でも　今は山中の自然に溶け込んで、今はやりのパワース ポットか？
初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれる。

また、京都側　伏見稲荷神社本殿から三ケ峰に続くに三ヶ峰奥社　お山巡りの参道にも　たくさんの塚や祠。
もとは朱の鳥居を含め、古くからの稲荷信仰の「おかげ参り」のたまもの。その数はますます増えてゆく。
昔　登った頃と随分イメージが変化して、戸惑いも。本当にすごい。
赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。
平日にもかかわらず　三ヶ峰への参道を登ってくる人はほとんどが外人の観光客。
さすが、日本一の外人観光客のスポットに。
でも、たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも……。

◎　知らなかった山科から稲荷山山越えすれば、もう　これで　稲荷山がわかると思っていましたが、
山中尾根筋や谷道に張り巡らされた参詣道の多さとその随所にある塚・行場。
まだまだ　知らぬところが　数知れずあると。
それぱかりか、稲荷伝承も色々。　興味深い。　稲荷大社と杉との関係も初めて。　東寺・空海と伏見稲荷との関係も興味ぶかい。　やっぱり　自然信仰・土着信仰が、稲荷大神の奥深さの源になっているのだろう。

◎　稲荷山の稲荷大神が農耕豊穣をもたらす開拓神。
開拓神として　ひょっとして鉱物資源との関係があるかもしれぬと　山中の峯・土　そして塚や行場にある伝承等々歩く先々で痕跡を見まわしましたが、見つからずでした。　でも　本当に面白い山。

◎　40数年前　伏見稲荷大社に数多くある摂社・参拝所のどこかで、「開運のだるま」を受けで、また、お礼参りをした記憶がある。　そこを訪ねてみようと探しましたが、開運達磨を売っている店はあるのですが、今回はよくわからず。

今回のwalkで、終わりにせず、また　ちょくちょく 訪ねようと……。
霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

2016.9.13.　鴨川七条大橋で　鴨川越しに東山を眺めながら　by Mutsu Nakanishi

稲荷山横断ハイク walking Map

伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



Walking 行程 約2Hr ： 伏見稲荷大社へ ← 稲荷山三ヶ峰 ← 山科IC横登山口から



参考　和鉄の道・Iron Road　*By Mutsu Nakanishi*

1.　京都市街と山科を「東山」を越えて結ぶ滑石街道 ＆ 稲荷山横断 ハイク　2016.9.13.

【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越　滑石街道を歩く　2016.9.13.

京都にうれしい古道の散歩道　発見

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm

【2】 久しぶりの稲荷山横断ハイク　2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランド

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm

2.　京都山科 西野山walk　2016.6.3.

古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る京都山科に坂上田村麻呂の墓を訪ねる

●坂上田村麻呂墓を訪ねる　●西野山山麓の鍛冶伝承地　花山稲荷神社　●稲荷伝承の折上稲荷

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ケ岳南製鉄遺跡群を訪ねる　2013.8.26.

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm




鴨川
東山七条
今熊野 滑石街道入口
JR稲荷駅
本殿
楼門
滑石街道
伏見稲荷大社
奥の院参道
三つ辻
新幹線・JR
東山トンネル
三の峯
四辻
大杉社
二の峯
滑石越 峠
御膳谷奉拝所
一の峯
（稲荷山山頂）
阪神高速
稲荷山トンネル
滑石街道
分岐
稲荷山 ハイク
西野山古墓
分岐11
将軍菩薩
西野山
稲荷山
登り口
山科 西野山地区
大石神社
滑石街道出口
新大石道
山科IC
Google

【追補】　２つに分けて掲載した　９月１３日の京都東山越往復walk

京都　東山三十六峰越 Walk　2016. 9. 13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道（醍醐街道）
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峰 伏見稲荷大社の参詣道をたどる



京都市街と山科を「東山」を越えて結ぶ
滑石街道　＆　稲荷山横断ハイク
walking ルート



東山七条
今熊野 滑石街道入口
滑 石 街 道
滑石越 峠
西野山古墓
新大石道
滑石街道出口
山科IC
稲荷山登り口
折上稲荷神社 ★
坂之上田村麿墓(伝) ★
稲荷山 ハイク
三つ辻
眼力社
四辻
西野山
稲荷山
分岐
分岐
京阪伏見稲荷駅
JR稲荷駅
楼門・本殿
師団街道
三の峯
二の峯
一の峯
七重山
京都市
山区
阿弥陀
伏見稲荷大社
稲荷山トンネル


清水山
三条通日ノ岡越
御陵
毘沙門堂
JR山科駅
東山トンネル出口
五条通渋谷越
JR東山トンネル
東山新幹線トンネル
今熊野滑石越
東山七条
国道1号線
JR京都駅
滑石街道
東海道新幹線
山科川
柳辻
新十条通
◎阪神高速8 山科IC
大石神社
阪神高速稲荷山トンネル
西野山
稲荷山一の峯
伏見稲荷大社
JR稲荷駅
稲荷山 ハイク
観修寺
名神高速道路
京都東山三十六峰越 Walk ルート図

一度歩いてみたかった東山36峰の南端　稲荷山の横断







山科西野山から眺める稲荷山



鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山南端部　西野山・稲荷山　2016.9.13.


稲荷山登り口
新大石道
山科IC
西野山
稲荷山 ハイク
西野山古墓
稲荷山 一の峯
四辻
滑石越峠
滑 石 街 道
伏見稲荷
大社
今熊野


京都側 今熊野から 滑石街道「東山越」walk 山科側 新大石道 滑石まで
新
山科IC横登り口から 稲荷山越 walk 京都側 伏見稲荷大社まで
[m]
300
250
200
150
100
50
26
0.0
0.5
1.0
1.5
2.0
2.5
3.0
3.5
4.0
4.5
5.0
5.5
6.0
6.5
7.0
7.5
8.0 [km]
東山七条
今熊野 滑石街道入口
滑石越峠
西野山古墓
滑石街道出口
稲荷山登り口
将軍塚青龍
西野山
分岐
一の峯
一の峯
分岐
四辻
御膳谷奉拝所
大杉社
四辻
三つ辻
御産場稲荷
本殿
奥の稲荷駅
疎水
京阪伏見稲荷駅



今熊野橋より、東山をトンネルで抜けてゆくJR東海道線（左）・新幹線（右）　2016.9.13.

滑石街道は正面に見える東山の右手を越えてゆく



阪神高速山科IC・稲荷山トンネル入口　2016.9.13.

この左手すぐのところに大石神社があり、稲荷山の登り口。

地元の人から「大石神社まで行かずとも、IC横の道をトンネルのところまで登れば、稲荷山への登り口」と教えてもらって、ここから登ることに。

【1】京都市街と山科を結ぶ東山滑石越　滑石街道を歩く　2016.9.13.



最近 山科西野山界隈を歩いていて知ったJR東山トンネルの上を越えて京都と山科を結ぶ東山滑石越の滑石街道(府道１１８号今熊野勧修寺線)。
かつては京都と山科を結ぶ間道として、京都ではよく知られた道で、東山を越えて山科に入る西野山地区は古い時代 中臣氏(藤原氏)の本拠地であり、坂之上田村麿の墓もある。また、忠臣蔵大石内蔵助が居住し、忠臣蔵の計画をめぐらしたところでもある。
また、この東山越は稲荷山そして醍醐への道でもある。 古い歴史をたどる道で、「滑石街道」の名前にはさぞ由緒があるのだろうと。
「滑石街道」の名は「忠臣蔵の秘策を練る大石内蔵助が、放蕩を装って、毎夜毎夜　東山の山道を越えて　祇園・伏見へ通った際に、凍り付いたこ道で足を滑らせて転んだこともあろう」と誰いうとなく「大石も滑る→すべり石」街道と呼ばれるようになったという。
何かすごい歴史がこの道に隠されていると思いましたが、意外にも庶民の感覚のネーミングでした。

また、曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く生活道路。 古い時代から住み継がれてきた生活道路。
三条通日岡峠越　五条通東山越の道が、幅の広い車道が走る幹線道路に対して、びっくりの東山越。
それも　東山通今熊野から東山を登るというより、ぶらぶら坂歩きで約30分で峠に　また、約30分で山科の街へ。
約1時間　急げばもっと短い時間で　京都と山科の壁「東山」を越えられるなど本当にびっくり。

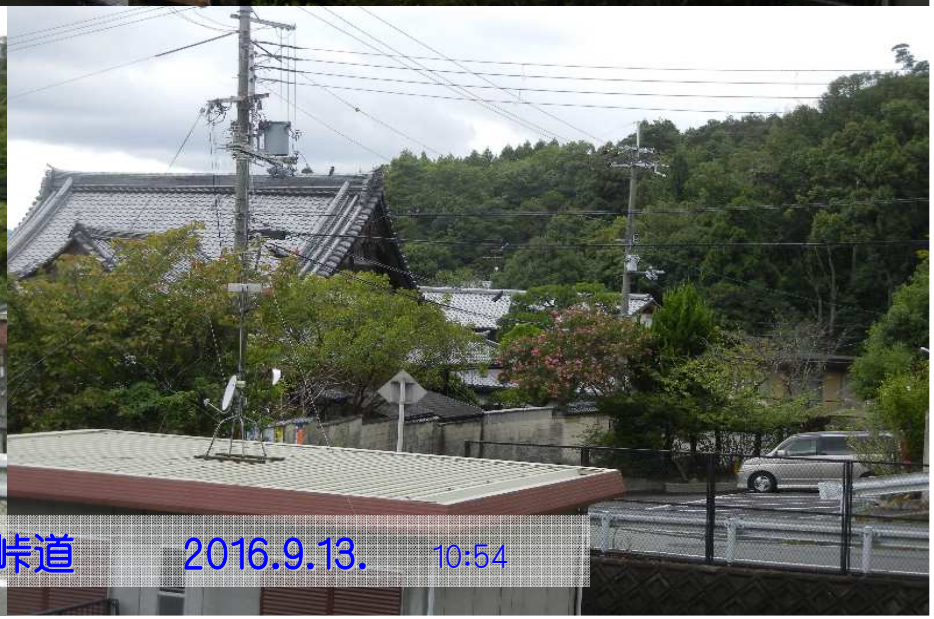
昔も今もずっと　車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」なんだと。
観光客の雑踏もなし　車にも邪魔されず、山から眺める景色も独り占め。 京都にうれしい古道の散歩道　発見でした。

小粒の雨がちらついていますが、やっぱり　このまま大石神社の横から稲荷山に登って　伏見稲荷大社へ参拝して帰ることに

2016.9.13.　山科　滑石・新大石道で　たどってきた滑石街道の道を眺めながら　　Mutsu Nakanishi







滑石街道　東山稜線乗越への峠道　　2016.9.13.　10:54

西野山から眺める南北に広がる山科盆地全景　西野山桜の馬場町周辺分岐より　2016.9.13.



【2】　山科の帰りは　久しぶりの稲荷山横断ハイク　　2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　　久しぶりの稲荷山はワンダーランド







伏見稲荷大社



七条大橋周辺より　鴨川越しに眺める東山　の南端 西野山・稲荷山　2016.9.13.







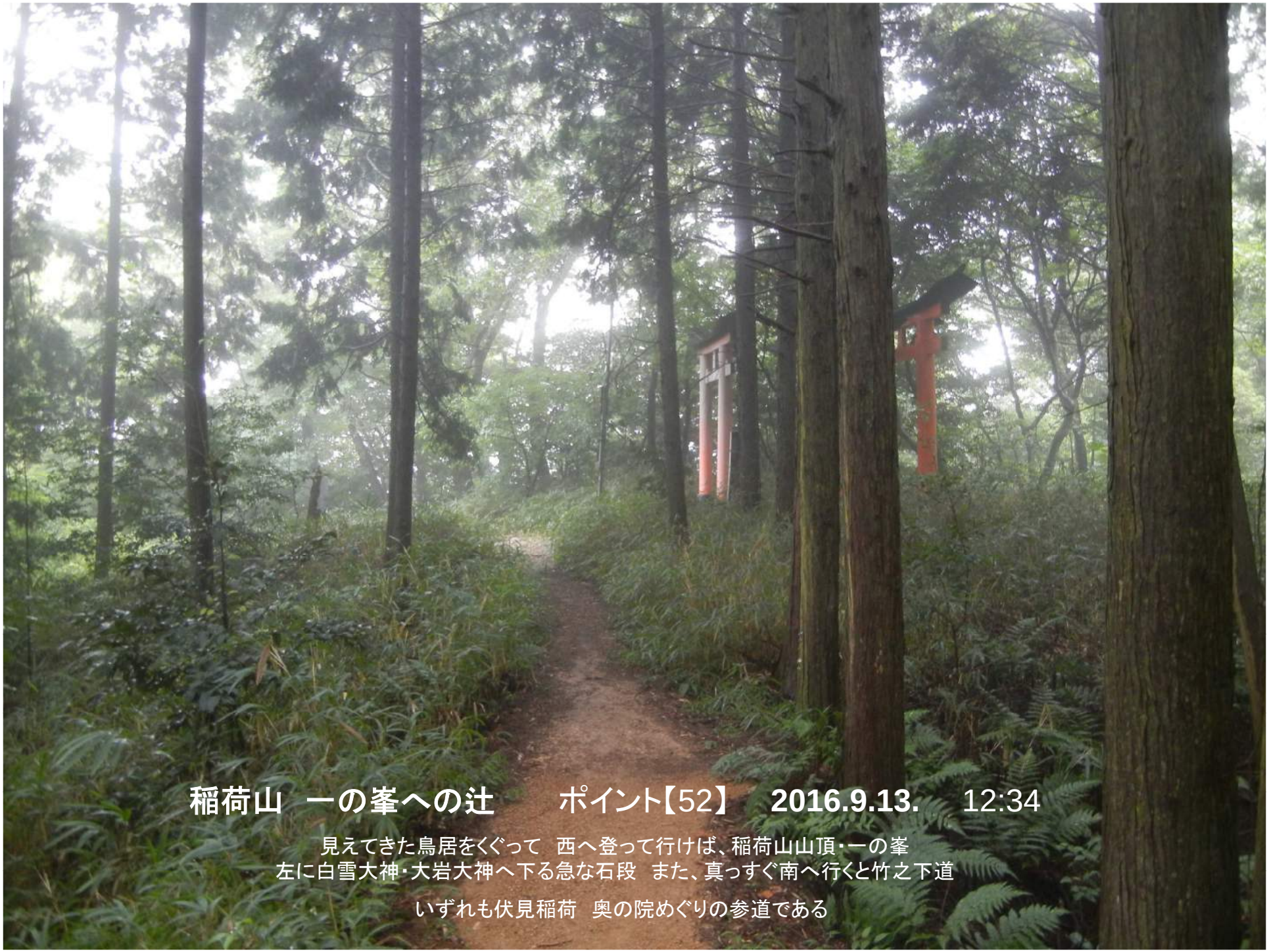


もう　何十年ぶりか？ 久しぶりに歩いた稲荷山。山科側の山中は　鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峯への小道がつづく。
昔から、伏見稲荷への参詣する多くの人がたどった道。 神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。一体幾つあるのだろうか？
今はやりのパワースポットか？　初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれる。
また、京都側　伏見稲荷神社本殿から三ケ峰に続くに三ヶ峰奥社　お山巡りの参道は切れることなく続くおびただしい数の赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。平日にもかかわらず　三ヶ峰への参道を登ってくる人はほとんどが外人の観光客。 さすが、日本一の外人観光客のスポットに。
たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも・・・・・・・・。
霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。



伏見稲荷大社参道　四つ辻から　京都　西山を眺める　　2016.9.13.


西野山山頂南部　将軍菩薩周辺　2016.9.13.



稲荷山　一の峯への辻　　ポイント【52】　**2016.9.13.**　12:34

見えてきた鳥居をくぐって　西へ登って行けば、稲荷山山頂・一の峯
左に白雪大神・大岩大神へ下る急な石段　また、真っすぐ南へ行くと竹之下道

いずれも伏見稲荷　奥の院めぐりの参道である

伏見稲荷大社



伏見稲荷大社



七条大橋周辺より 鴨川越しに眺める東山 の南端 西野山・稲荷山 2016.9.13.











稲荷山 一の峯 伏見稲荷大社上社 2016.9.13.













一度ぜひやってみたかった東山三十六峰　東山越　＆ 伏見稲荷参詣道の稲荷山横断walk

◎ 滑石街道　東山滑石越　　京都にうれしい古道の散歩道　発見でした。
曲がりくねった狭い道の両側にびっしり今熊野の家並みが峠まで続く、古い時代から住み継がれてきた生活道路。
びっくりの東山越。　それも　東山通今熊野から東山を登るというより、ぶらぶら坂歩きで約30分で峠に
また、約30分で山科の街へ。　京都と山科がこんなに近いとは‥‥。
逆に気分的な東山の壁の大きさにも気が付きました。
観光客の雑踏もなし　車にも邪魔されず、山から眺める景色も独り占め。
昔も今もずっと　車に邪魔されずに歩ける庶民の道「滑石街道」。

◎ もう　何十年ぶりか?　久しぶりに歩いた稲荷山。私の遠い記憶の山とは随分　イメージが違う。
知っているようで知らなかった山に。
山科側の山中は　鬱蒼とした緑の林に包まれた静かな空間に稲荷山の山頂三ヶ峯への小道がつづく。
稲荷神の化身としての神さんの祠や塚そして行場が数多く散在する摩訶不思議なワンダーランド。
一体幾つあるのだろうか?　　でも　今は山中の自然に溶け込んで、今はやりのパワースポットか?
初めて山科側からたどる稲荷山への道はこの山が伏見稲荷の御神体山であることを体現させてくれる。
また、京都側　伏見稲荷神社本殿から三ケ峰に続くに三ヶ峰奥社　お山巡りの参道にも　たくさんの塚や祠。
もとは朱の鳥居を含め、古くからの稲荷信仰の「おかげ参り」のたまもの。その数はますます増えてゆく。
昔　登った頃と随分イメージが変化して、戸惑いも。本当にすごい。
赤い鳥居トンネルが連続し、参詣する人の賑わいもさすが。 日本一の外人観光客のスポットに。
平日にもかかわらず　三ヶ峰への参道を登ってくる人はほとんどが外人の観光客。
たくましく山を登ってくる外人たちの多さに、今の日本人が忘れてしまった気質を見る思いも‥‥‥‥。

◎ 知らなかった山科から稲荷山山越えすれば、もう　これで　稲荷山がわかると思っていましたが、
山中の尾根筋や谷道に張り巡らされた参詣道の多さとその随所にある塚・行場。
まだまだ　知らぬところが　数知れずあると。そればかりか、稲荷伝承も色々。 興味深い。
稲荷大社と杉との関係も初めて。 東寺・空海と伏見稲荷との関係も興味ぶかい。
やっぱり　自然信仰・土着信仰が、稲荷大神の奥深さの源になっているのだろう。

◎ 稲荷山の稲荷大神が農耕豊穣をもたらす開拓神。
開拓神として　ひょっとして鉱物資源との関係があるかもしれぬと　山中の峯・土　そして塚や行場にある伝承等々
歩く先々で痕跡を見まわしましたが、見つける子ができませんでした。 でも　本当に面白い山。

◎ 40数年前　伏見稲荷大社に数多くある摂社・参拝所のどこかで、「開運のだるま」を受けで、また、お礼参りをした
記憶がある。 そこを訪ねてみようと探しましたが、開運達磨を売っている店はあるのですが、今回はよくわからず。

今回のwalkで、終わりにせず、また　ちょくちょく　訪ねてこようと‥‥‥‥。
霧雨が時折頬をなでる曇天でしたが、念願の山科側から京都市内側への稲荷山横断ができました。

一度歩いてみたかった東山36峰の南端　西野山･稲荷山の横断

久しぶりの 東山walk はワンダーランド　おもしろいハイクでした







鴨川 京都駅東 塩小路橋から遠望する東山南端部　西野山･稲荷山　2016.9.13.

参考　和鉄の道・Iron Road　*By Mutsu Nakanishi*

1.　京都市街と山科を「東山」を越えて結ぶ滑石街道 ＆ 稲荷山横断 ハイク　2016.9.13.

【1】 京都市街と山科を結ぶ東山滑石越　滑石街道を歩く　2016.9.13.

京都にうれしい古道の散歩道　発見

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610suberiishi00.htm

【2】 久しぶりの稲荷山横断ハイク　2016.9.13.

山科西野山から稲荷山へ登って伏見稲荷大社へ　久しぶりの稲荷山はワンダーランド

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1610inariyama00.htm

2.　京都山科 西野山walk　2016.6.3.

古代の鍛冶伝承・稲荷伝承の残る京都山科に坂上田村麻呂の墓を訪ねる

●坂上田村麻呂墓を訪ねる　●西野山山麓の鍛冶伝承地　花山稲荷神社　●稲荷伝承の折上稲荷

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2016htm/iron12/1607nishinoyama00.htm

3. 京都山科に古代のたたら跡 如意ケ岳南製鉄遺跡群を訪ねる　2013.8.26.

http://www.infokkkna.com/ironroahtd/2013htm/iron09/1309yamashina00.htm



京都　東山三十六峰越 Walk　2016. 9. 13.

1. 大石内蔵助が京都に通った古道 滑石街道（醍醐街道）
2. 稲荷神降臨伝承の稲荷山三つ峰 伏見稲荷大社の参詣道をたどる

